

2021年 新春

新型コロナウイルスから

命と暮らしを守る区政に

党区議団が花川区長に申し入れ

希望ある新年度予算に

昨年11月19日、日本共産党北区議員団は、2021年度北区予算編成に関する要望書を花川区長に提出。新型コロナウイルスの感染拡大が続く下、区民に希望をしめす予算とするよう求めました。また、12月14日には“越年”対策に万全を期すよう第5次のコロナ対策申し入れ。新しい年も引き続き、住民のみなさんの声にこたえてがんばります。

日本共産党北区議員団

GoToより医療に!

PCR検査の拡充を

緊急窓口開設を

暮らしに必要な支援を



花川区長に要望書を提出する党区議団と遠藤久党北地区委員長 = 2020年11月19日、北区役所

安心して新年迎える対策を

宇都宮章議員が代表質問



暮れから新年にかけての相談体制の拡充を求めました。区は、「土日・休日の開庁予定はないが、年末年始の福祉事務所内の連絡体制を整え、個々の状況に応じ対応する」と答弁しました。

新たな新型コロナ対策

住民の声で実現!

ひとり親支援

一世帯5万円の臨時給付金再支給

2人目以降
3万円

PCR検査

区内71カ所の機関で検査が可能に



支援延長

緊急小口資金、住居確保給付金の期限を延長

少人数学級

2025年度までに、小学全学年で35人学級へ移行

困りごとがあれば、ためらわず相談を

日本共産党北区議員団 北区役所控室
TEL 3908-7144 FAX 5993-0280



宇都宮 章
神谷3-10-8-401
090-4127-7550



さがらとしこ
赤羽北3-23-17
3905-0970(事務所)



せいの 恵子
滝野川3-56-7
070-3531-0812



ながいともこ
浮間3-1-54-302
080-4429-6338



野口 まさと
東十条5-16-10
070-5658-0603



のの山 けん
岩淵町22-31-401
090-2156-3510



福島 宏紀
豊島5-4-1-615
090-1206-6925



本田 正則
田端3-4-12-305
090-9240-8066



山崎 たい子
豊島7-19-10
090-2160-1292

日本共産党北区議員団ニュース

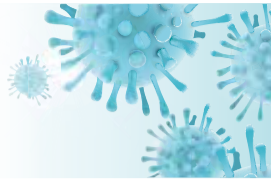
2021年 発行:日本共産党北区議員団
新春号 〒114-8508 北区王子本町1-15-22

日本共産党北区議員団
http://kyoukita.jp

検索

北区のコロナ対策は

第3波といわれる新型コロナ感染の急増で、北区での感染者も累計で1000人を超えています。現在、北区における新型コロナ対策はどうなっているのか、Q&Aでご紹介します。



Q. 新型コロナウイルスに関する電話相談は

平日の日中は「北区新型コロナ相談センター」(☎ 3919-4500)、土日および夜間は「東京都発熱相談センター」(☎ 5320-4592)へ。

Q. 発熱などの症状がある時は

PCR検査が可能な診療・医療機関は、北区で71カ所あります。まずは、かかりつけ医か、上記の電話窓口へご相談ください。必要な場合は、医療機関の指示に従って受診することができます。医師の診断によるPCR検査は無料です。

Q. 区内の入院医療などの体制は

軽症患者用に、区内4つの病院で最大1日50人程度の病床が確保されています。中等・重症の場合は、東京都が広域に対応します。北区では、陽性者の増加に伴い、自宅療養が必要になった場合に備え、食品配送などを準備しています。

Q. 在宅療養中の高齢・障害者や介護者が感染した場合は

一時的な入院や施設入所など、北区が体制をとり対応します。

Q. 感染を防止し、クラスターの発生を抑えるための対応は

北区では、老健施設やショートステイを含む高齢・障害者施設への新規入所者にPCR検査を無料で実施します(入院の場合は一部補助)。また、施設で感染者が出た際、保健所の判断により、濃厚接触者などの範囲を幅広くとらえて、無料の行政検査を実施しています。

高齢者 ささえる社会に



北区議員団のよびかけで

地域包括ケア 学習交流会

北区の高齢者事業、介護保険事業の指針となるのが「北区版地域包括ケア推進計画」。2021年度から新たな計画がスタートします。

日本共産党区議団は昨年12月12日、北とびあいで学習会を開催。参加者からの介護体験発言などを交えながら、高齢者の暮らしを支える支援のあり方について交流しました。



中小業者への 手厚い支援を

のの山 けん 議員

赤羽の街を歩いて聞き取った生の声を紹介しながら、制度のはざままで支援が受けられない事業者への上乗せなど、新型コロナで深刻な影響を受けている中小業者に区独自の支援を行い、「来年も頑張れる」という“希望”を示すよう要請。区は、各種支援策をまとめたチラシを新たにつくり、事業者に配付・周知しました。

まちの環境を激変させる

86号線中止求めよ

住民合意のないまま推し進められている赤羽西地区の特定整備路線・補助86号線計画。住民裁判をたたかっている「86号線に反対する住民の会」のみなさんから、「86道路でまちの中に大きな壁ができ、まちの環境は激変する」と厳しい声があがっていることを受けて、「住民の声を受け止め、計画中止を都に求めよ」と質しました。

東京都が作成した、補助86号線と区道243号線が直角に接する赤羽西4丁目交差点付近のパース図。



さがら としご 議員



火災罹災者の 生活再建を

山崎 たい子 議員

10月に発生した火災によって20代から30代の若い世代の方々が罹災者となり、身に起きた突然の出来事に、今後どうしたらいいのかと困惑の状況に。北区でも緊急に身を寄せる場所を提供する制度をつくるよう求めました。区は、「罹災者が一時的に生活できる場所について検討をすすめる」と答えました。